



ライフル射撃

- ◆ナショナルチーム・エリートアカデミー合同合宿
日程：1/9（金）～1/11（日）
場所：味の素NTCイーストライフル射撃場（東京都北区）
定期的に開催されているナショナルチームとの合同合宿が開催され、阿部暁梨沙選手、川村悠夏選手、佐藤美優選手、高橋悠里選手（いずれも成立学園高校）が参加して、日本トップ選手とともに射撃技術を磨きました。



25射座を備えたライフル射撃専用練習場

写真：日本ライフル射撃協会



写真：日本柔道連盟

関東各地から約650名の選手が参加

卓球

- ◆天皇杯・皇后杯 全日本選手権大会（一般・ジュニアの部）

日程：1/20（火）～1/25（日）

場所：東京体育館（東京都渋谷区）

国内最高峰の大会に、アカデミー生4名が挑みました。一般の部では、渡部民人選手と小塩悠菜選手（ともに星槎国際高校）が4回戦、花沢夏琳選手（星槎中学）と岡田蒼空選手（成立学園中学）が3回戦、香取悠珠子選手（星槎国際高校）が2回戦でそれぞれ敗退となりました。

ジュニアの部では、小塩選手が昨年度の3位から1つ順位を上げて2位、渡部選手が昨年度のベスト16から大きく順位を上げて3位となり、それぞれメダルを獲得しました。岡田選手はベスト16、香取選手はベスト32、花沢選手は1回戦敗退の成績でした。

ローリング

2025年度は在籍選手なし

アーチェリー

- ◆U18・U21ナショナルチームスタート合宿

日程：1/8（木）～1/11（日）

場所：味の素NTCイーストアーチェリー場（東京都北区）
2025年11月に開催された選考会で、2026年度のU18およびU21ナショナルチームに選ばれた選手のスタート合宿が開催されました。JOCエリートアカデミーからは、U21に大井梨世選手と古庄千陽子選手（ともに都立足立新田高校）、U18に上柳結加選手（都立足立新田高校）が参加し、技を高め合いました。

レスリング

- ◆関東ブロックNTS研修会

日程：12/25（木）～12/28（日）

場所：小瀬スポーツ公園体育館（山梨県甲府市）

ジュニア選手の競技力向上対策の一環として行われているNTS（ナショナル・トレーニング・システム）の関東ブロック研修会が開催され、アカデミー生6名が参加しました。研修会では、アカデミー修了生で東京2020大会で金メダルを獲得した乙黒拓斗氏がコーチ長となり、ナショナルチーム強化コーチが技の指導やスパーリング等を実施しました。

フェンシング

- ◆第78回全日本選手権大会

日程：12/26（金）～12/28（日）

場所：東京都港区スポーツセンター（東京都港区）

野元麻央選手（星槎国際高校）と宇都宮玲奈選手（北区立稻付中学）が初めて全日本選手権に挑みました。いずれの選手もシニア女子サーブル個人に参戦し、野元選手が18位、宇都宮選手が37位となりました。

- ◆第33回JOCジュニアオリンピックカップ

日程：1/8（木）～1/11（日）

場所：駒沢オリンピック公園屋内球技場（東京都世田谷区）

ジュニア女子サーブル個人に野元選手と宇都宮選手が出場しました。野元選手は昨年度の5位から1つ順位を上げて4位となり、宇都宮選手は15位でした。

宇都宮選手は、13歳以上17歳未満のカデ女子サーブル女子にも出場し、15位でした。



4位入賞となった野元選手（中央）

写真：日本フェンシング協会

◆JOCジュニアオリンピック第49回全日本ジュニア選手権大会
日程：1/16（金）～1/18（日）
場所：フジスイアイスリンクいわて（岩手県盛岡市）
アカデミーから男女計6名が出場し、福島選手・西尾友里選手・新海彩花里選手（いずれも星槎国際高校）が組んで出場した女子チームスプリントでは見事優勝、女子500mで西尾選手が2位、男子1500mで新海選手が3位となりました。

本競技会は、2/21（土）からドイツのインツェルで開催されるジュニアワールドカップ競技会第3戦（最終戦）および世界ジュニア選手権大会の最終選考競技会となっており、新海選手が派遣選手団に選出されました。

種目	成績
男子1000m	中村和平 11位
男子1500m	新海大輝 4位、中村和平 7位
男子5000m	新海大輝 3位
男子マススタート	中村和平 13位
女子500m	西尾友里 2位、福島希空 8位
女子1000m	新海彩花里 3位、西尾友里 8位、福島希空 11位、橋本姫桜 15位
女子1500m	新海彩花里 4位、橋本姫桜 22位
女子マススタート	橋本姫桜 20位
女子チームスプリント	福島姫桜・西尾友里・新海彩花里 優勝
女子チームパシュート	橋本姫桜・西尾友里・新海彩花里 3位

◆ジュニアサーブルワールドカップ

日程：1/16（金）～1/18（日）
場所：ボストン・アメリカ

野元選手が日本代表として出場し、個人では出場した日本人選手の中で2番目となる51位、団体では5位の成績を収めました。

スピードスケート（連携）

◆第80回国民スポーツ大会北海道予選会

日程：12/19（金）～12/21（日）
場所：釧路市柳町スピードスケート場（北海道釧路市）
少年男子で中村和平選手（星槎国際高校）が1500mで優勝、1000mで2位となりました。少年女子では、酒井夏羽選手（星槎国際高校）が500mと1000mで優勝、福島希空選手（星槎国際高校）が500mと1000mで2位、橋本姫桜選手（星槎国際高校）が1500mで2位、1000mで4位となりました。



国スポ出場権を獲得した中村選手（中央）

写真：日本スケート連盟



厳しい天候の中奮闘した選手たち

写真：日本スケート連盟

◆第93回全日本選手権大会

日程：12/26（金）～12/28（日）
場所：長野市エムウェーブ（長野県長野市）
ミラノ・コルティナ2026冬季大会への最終選考競技会となる全日本選手権が開催され、新海大輝選手（星槎国際高校）が男子1500mにて13位、男子5000mで11位となりました。女子では酒井夏羽選手（星槎国際高校）が500mに出場し、17位の成績でした。